

施設名	(学) 勝田学園 大成幼稚園	電話	048-663-2892
住所	さいたま市大宮区大成町2-182-2		

事例 1	タイトル	ハロウィンパーティーとおいしいパーティーを楽しむよ！(おいも蒸しパンケーキ)	
	目指す姿 (大きな目標)	ばらぐみみんなで計画したハロウィンパーティーを楽しもう。 みんなで同じものを味わうことを喜ぶ。	
	当日のねらい (小さな目標)	自分たちで収穫したサツマイモをみんなでおいしくたべよう。	
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2021年11月1日(月)	
	場所	大成幼稚園・年長4歳児ばらぐみ 保育室	
	資料・教材		
	実施内容	<ol style="list-style-type: none"> ① 10月29日に実施したお芋堀でお芋収穫 ② お芋を干して1日のパーティーに備える ③ お芋を水洗いし、保育者といっしょに一センチ角に切る。鍋に入れふかしてもらう間にハロウィンパーティーの準備をする。 ④ ハロウィンパーティーで各クラスを練り歩いたのち、クラスでふかしたお芋を使って作った蒸しパンケーキを試食する。 	
結果・参加者の反応や様子	<p>各家庭でも身近で楽しみの一つになったハロウィンパーティーを子どもたちが主となってクラスの中で計画していった。ちょうどいい時期に芋ほり遠足も重なり、芋を使って「おいしいパーティーもやろうよ！」と子どもたちが発案実践した。</p> <p>サツマイモは子どもたちにとってあまり抵抗の少ない野菜であることもあり、普段野菜を食べない子や、好き嫌いが多く口に入れることを安心し、「おいしい！」と食べてくれることを期待し調理方法を研究した。</p> <p>口当たりが柔らかく、ほんわりと甘さが広がる蒸しケーキにしたことで「あったかい！」「ふわっふわ！」「あまい！」「おかわない？」と子どもたちにはとても好評で、いい笑顔いっぱいの試食会となった。</p>		
評価・今後の課題	10月29日に芋ほり遠足を実施することができ、ずっと温めていたハロウィンパーティーの計画を進めることができた。コロナ禍になる前は芋を使って園全体で芋汁パーティーを催していたが、昨年度と今年度は衛生管理に配慮しクラス単位で実施することとした。野菜を切る以外、子どもたちが調理に関わることはなくなったが、みんなで収穫した喜びやみんなで計画し楽しみにしていた企画の実行、同じものを食する喜びを体験することができた。	備考	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー確認の上実施 ・コロナ禍のため、活動内容の制限もあったが、可能な活動を実現していった。 ・食に関心が持てる取り組みも今後とも検討していきたい。



10月29日(金)
お芋掘遠足

11月1日(月)
ハロウィンパーティーの準備をするよ。お芋をきれいに洗って、先生と一緒に
お芋を切ります。



みんなを
驚かせて
きまー
す。



ふわっふわの蒸しパンケーキが
できました。園長先生もどうぞ。



施設名	神戸幼稚園	電話	048-641-0485
住所	さいたま市大宮区土手町3-22		

事例 2	タイトル	本物の赤しそジュースを作ってみよう！	
目指す姿 (大きな目標)	育てた作物を調理する楽しさを知り、興味関心を深める。		
当日のねらい (小さな目標)	育てた赤しそに五感を使って触れ、発見を共有する。作物の様々な可能性を知る。		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児 4歳児 5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭 保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和3年11月12日(金)	
	場所	4歳児うめぐみ保育室	
	資料・教材	赤しそ ・砂糖 ・レモン汁	
実施内容	子ども	保育者	
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期から草花に興味を持ち、保育者と一緒に色水作りを楽しみ、ジュースやさんを開いて遊ぶ姿が見受けられたため、実際に口にすることができる赤しその苗を植えることにした。 ・クラスで育て、ジュースやさんという遊びの中で親しんでいた赤しそが、実際に飲むことができると知り「本当に飲めるのかな?」「おいしいの?」と不思議がる様子が見受けられた。 ・赤しそを煮る過程の中で、ぐつぐつという煮える音や、色の変化に気付き「紫?赤?ちょっと黒っぽいよ?」「もっと赤くなってきた!」と友だち同士で話したり、「梅干しみたいないい匂い~!」と匂いにも気が付く様子があった。また、赤しそ自体の色の変化(紫から緑)にも気付き、「煮えた合図だね」と話す姿もあった。 ・シロップが出来上がると、「煮るといい色になるんだ」と遊びの中で作っていたジュースとの色の違いも感じ、知識を得た様子だった。また、「初めて飲んだけど葉っぱの味じゃないみたいだね!」「砂糖入れたからじゃない?」と実際に自分たちの手で調理をした美味しさを感じている様子があった。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で親しんだ作物を使うことで、より活動への意欲を高めることができた。また「他にもジュースにできるかな?」と他の作物にも興味を持っている様子が見受けられた。 ・栽培から子どもと一緒にいったことで、見た目、色、匂いの変化など、五感で感じている様子があった。 ・降園の際に飲んだジュース、写真を掲示することで、保護者にも活動内容を伝えるべきだった。 	備考	

<ジュースやさんごっこ> 9月～

美味しいですよ～！



色が変わった！



<しそジュース作り> 11月12日



本当に飲めるの？



紫になってる！！

梅干し
みたいな
匂い…！



ゆっくり…

美味しい～♪

おかわり！！



施設名	学校法人 島学園 しま幼稚園	電話	048(683)3468
住所	埼玉県さいたま市見沼区高町448番地		

事例 3	タイトル	すいかを育てる	
目指す姿 (大きな目標)	すいかが出来てきたときの課程を知ろう		
当日のねらい (小さな目標)	すいかをみながら育てて実を作ろう		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和3年 5月6日 ~	
	場所	幼稚園の火田	
	資料・教材	やさい畑 2013 初夏号 夏野菜の育て方	
実施内容	すいかの苗を植えてみながら水やりをしながら育ちを見守る。 苗に変化が見られた時には、すいか新聞という形で、新聞を作り クラスの中に掲示して成長を楽しむ。		
結果・参加者の反応や様子	当初、植えた苗は、ねきり虫により1度はほぼ全滅という悲しい結果となるが、 あきらめず再度苗を植えて、2回目は良く育ち、今年は大豊作とれた。 ねきり虫という虫の存在を知り事ができたのも、いい経験となりました。 すいかは苦手な子も、収穫した後、いつもは食べないに聞いていたが、 自分たちで、水やりをして育てた思いもあり、一口でも食べたい姿が見られました。		
評価・今後の課題	すいかを育てる事の難しさや、すいかが出来てくる様子を見る事ができました。 今後の課題としては、種から芽が出る所や 実が出来てからの実を守る作業も先生だけ やるのではなく、一緒に行えるように 学びたいと感じた。	備考	

すいかのなえが...!!

みんなどうもすいかのなえが...われてしまいました



ねきりむしという
むしのしわざ。
おひるはつちのなかにい
よるになるとでてきて
くきをたべちゃうです。

なのでもう1かいあたらしいなえをうえました。
こんどはむしにたべられませんように...!!

くきをかじられなかった
いっほんには...

すいかのおはなを
はっけん!!

「きいろなんだ...」と
みんなびっくりしていました!



施設名	浦和すみれ幼稚園	電話	(048) 767-3922
住所	さいたま市桜区南元宿2丁目24番1号		

事例 4	タイトル	お芋掘り (芋を掘る・芋で楽しむ)	
	目指す姿 (大きな目標)	食材の大切さに気が付き、食に興味を持つ。	
	当日のねらい (小さな目標)	・秋の自然に親しむ。・おいもを自分で収穫する。	
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・ <u>4歳児</u> ・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	<u>幼稚園教諭</u> ・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和3年10月25日(月)	
	場所	おいも火田	
	資料・教材	・糸巾着、糸会本、壁面で導入し、実際祭に体馬食。 ・体馬食後、小さな芋で芋版を作り、製作画に押した。	
	実施内容	・素手で芋を掘る。 ・掘った芋で芋版を作る。	
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・素手で芋を掘り、土の感触を感じながら掘れた。 ・芋を育てている方の話を直接聞き、食べ物の栽培方法や生長過程に目を向けることができ、興味・関心が持てた。 ・芋を家に持ち帰り、スイートポテトや焼き芋等にして自分で収穫したお芋で作る楽しさや食べる喜びを感じ、食べ物に感謝の気持ちを持てるようになった。 ・小さな芋で、芋版製作を楽しんでいた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・芋掘りの経験を通して、食材の大切さに気がつけた。 ・糸合食に入っている野菜に前向きな気持ちを持てるようになってきたので、好き嫌いなく食べられるように目指していきたい。 ・里芋以外の食べ物にも、感謝の気持ちを持って食べる気持ちを育ていきたい。 	備考	



【コラム】 第3次さいたま市食育推進計画 ①

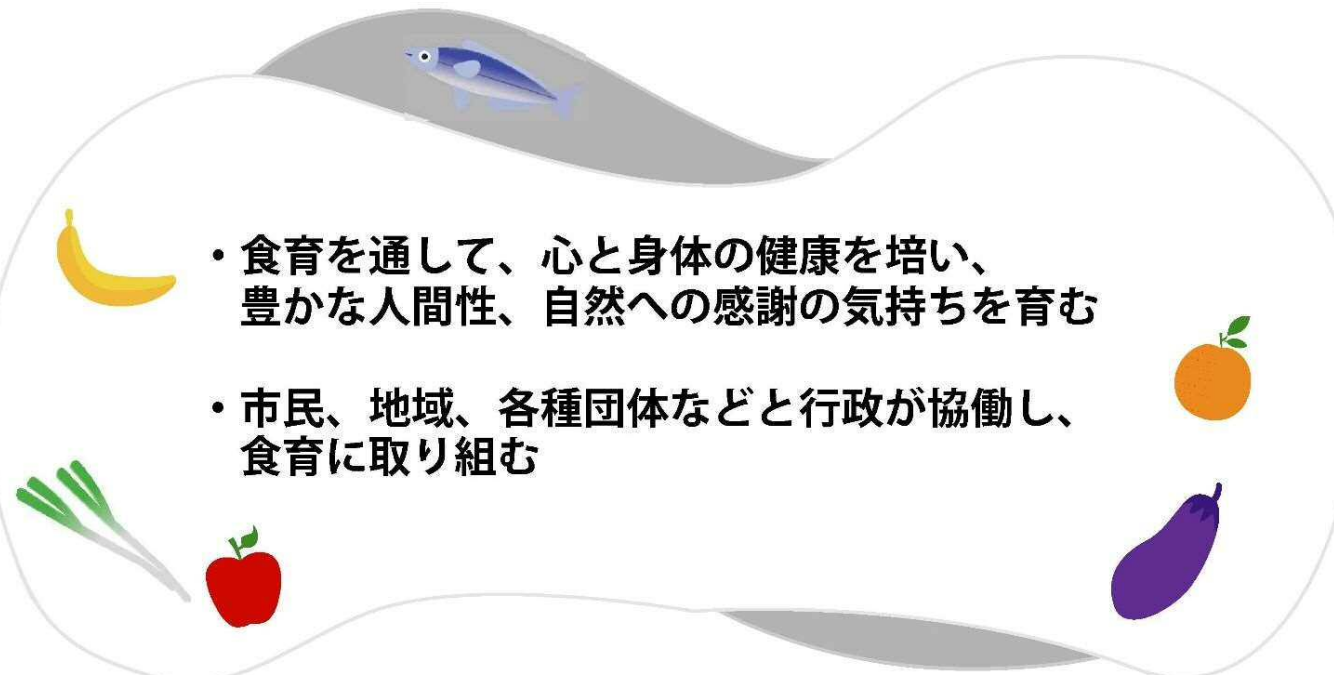
さいたま市では、食育基本法に基づき、平成20年に「さいたま市食育推進計画」、平成25年に「第2次さいたま市食育推進計画」を策定し、食育の推進に取り組んできました。

これまでの取組の成果と、現状や課題を踏まえ、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくため、平成30年3月に「第3次さいたま市食育推進計画」を策定しました。

【計画期間】

平成30（2018）年度～令和4（2022）年度

【食育の基本理念】

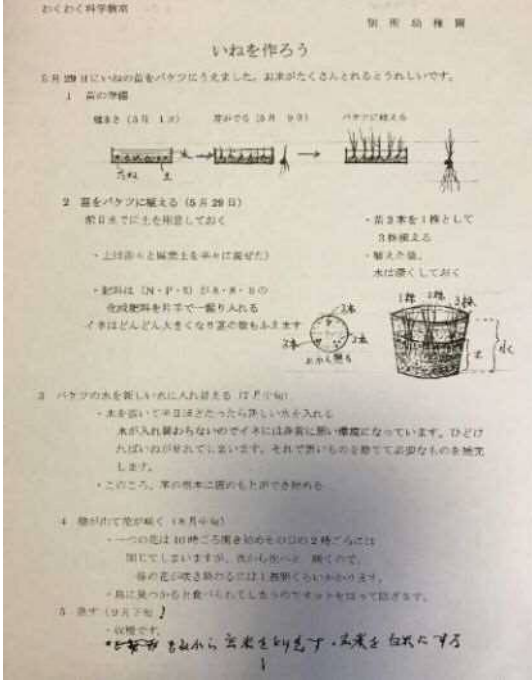
- 
- ・食育を通して、心と身体の健康を培い、豊かな人間性、自然への感謝の気持ちを育む
 - ・市民、地域、各種団体などと行政が協働し、食育に取り組む

施設名	別所幼稚園	電話	048-862-1371
住所	さいたま市南区別所7-6-1		

事例 5	タイトル	米をつくろう	
目指す姿 (大きな目標)	米作り体験(種まきから白米まで)をしてごはん大好き子になろう		
当日のねらい (小さな目標)	① 田植えの様子を観察する② <u>もみから米を取り出す</u> ③ 精米の様子を見て玄米・ぬか・白米の観察をする		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	<u>幼稚園教諭</u> ・保育士・栄養士・調理師・調理員・ <u>その他</u> (わくわく科学教室講師)	
	日時	令和3年4月～10月	
	場所	年長組教室	
	資料・教材	② <u>もみから米を取り出す</u> の場合 ・イネの穂(一人1本)・コメの取り出し方を説明した図・粳や玄米を入れる紙皿	
実施内容	② <u>もみから米を取り出す</u> の場合 1. もみを目で見る、手で触る 2. もみ殻を取り、米を取り出す方法を知る 3. もみを割ってもみ殻を取り除き、米を取り出す 4. もみ・米(玄米)・もみ殻を比べる(におい、手触りなど)		
結果・参加者の反応や様子	② <u>もみから米を取り出す</u> の場合 「もみから米を取り出してみよう」と言うと、「できるかなあ」と不安や不可能を発言する子どももいるが、次第に「とれた!」と歓声が上がるといなり意欲的に取り組んでいた。もみから米を取り出す数には個人差があるが、指先を上手に使って楽しみながら熱心に活動する姿が見られた。 「茶碗一杯のご飯をつくるのに必要な米粒はとれるかな?」と問うと、「明日かな」「すごいかかりそう」と答え、手作業での脱穀の大変さや遅さに気付いた。「今は機械でやるから簡単なんじゃない」という発言から、機械脱穀について説明をして次時につなげた。 もみ殻とりをしている過程で子どもたちはもみ殻や取り出した米を触ったり、においをかいだりして五感をつかい観察していた。おいしそうなお飯を想像して笑みがこぼれる子どもも多かったです。 もみ殻や取り出した米はうれしそうに各家庭に持ち帰った。		
評価・今後の課題	② <u>もみから米を取り出す</u> の場合 ・子どもたちは、もみから米を取り出す大変さに気付いた。 ・今は機械脱穀なので米が簡単にとれて、いつでも、だれでも、必要な量を食べられるようになっていくことを知った。 ・米がいろいろな過程を経て食べられるようになることを体験して、一粒一粒の米を大切にしようという心情が育った。 ・すりこぎや板をすり合わせる方法も試したい。	備考	② <u>もみから米を取り出す</u> の場合 ・もみ殻を取る時に爪を傷めないように助言して、きめ細かい個人指導をする。 ・取り出すこめの数が少ない子どもには、あらかじめ用意してあった米を補充するようにした。 ・家庭に持ち帰ったもみを家族と一緒に米を取り出したたり、取り出した米を炊いて食べたりした子どもも多かったです。

米をつくろう～米作り体験をしてごはん大好きっ子になろう～活動記録

1 田植えをしよう



2 日々の観察



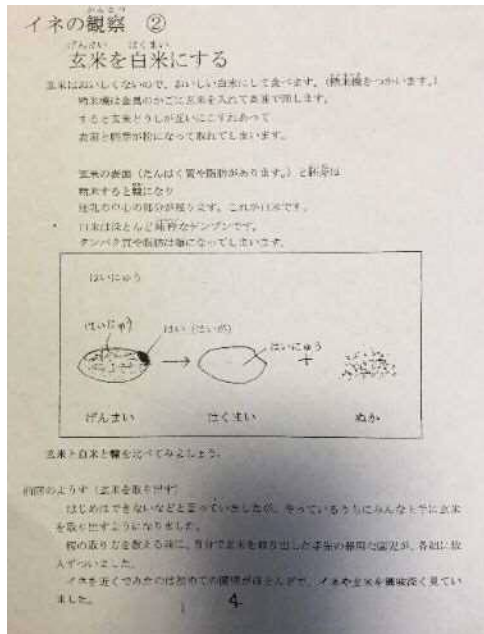
※ イネの苗は、講師が種まきをして育てた。

※ 苗や刈り取った稲穂は農家を営む職員からも提供された。

3 もみから米を取り出すもみ殻・玄米



4 精米の観察 玄米・ぬか・白米



※ プリント資料は活動ごとに家庭に配布される。子どもと活動を共有し、科学情報としても各家庭で活用されている。

※ 苗、稲穂、玄米、ぬか、白米は小袋に入れて家庭に持ち帰り、家庭での食育の材料となっている。



施設名	むさし幼稚園	電話	048-861-6009
住所	さいたま市南区文蔵3-11-6		

事例 6	タイトル	焼き芋会	
目指す姿 (大きな目標)	・焼き芋のでき方を知り、おいしくいただく		
当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・やきたてのお芋を味わい食べる ・火の怖さを知り、安全に扱うことを知る 		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・ <u>2歳児</u> ・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	<u>幼稚園教諭</u> ・保育士・栄養士・調理師・調理員・ <u>その他</u> 職員)	
	日時	令和3年11月12日(金)	
	場所	幼稚園園庭	
	資料・教材	さつま芋、新聞紙、アルミホイル、落ち葉、材木、ブロック	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・前日にさつま芋を洗い、並べる。 ・当日登園後新聞紙、アルミホイルでさつま芋を巻く。 ・たき火をつくらせたおき火の中に自分で芋を投げ入れる。 ・アルミホイルの上から指さつぶし、やわらかくなったら出来上がり。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・9月に芋堀り遠足に行き、茨越の農園から、さつま芋を送ってもらったが、家庭で調理したものと味の違いを口々にしていた。 ・たき火をしたことのない子がほとんどで、直接火に近づき、熱さや怖さ、けむりのにおいを感じていた。避難訓練の導入、復習にもなっていた。 ・あつあつの出来上がりでも年長児が昨年の経験を生かし上手にアルミホイルをはがして食べるのを見て、下の子たちも自分で準備していた。 ・「甘い」「おいしい」が止まらず、ほぼ全員が完食をしていた。 ・準備を自分で行うことで、火に入れている間は見えなくても、期待が高められていた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園は住宅街の中にあるため、たき火をするのが年々難しくなってくると思うが、来年も実施できるようにしたい。 ・今年もさつま芋自体がおいしかったうえに、焼き芋にすることで、一層おいしく頂けた。 	備考	

施設名	学校法人明の星学園 浦和明の星幼稚園	電話	048-873-5850
住所	さいたま市緑区東浦和6丁目 4-19		

事例 7	タイトル	3つの色の食べ物列車		
目指す姿 (大きな目標)	バランスよく食べる大切さを知る			
当日のねらい (小さな目標)	三大栄養素の分類と役割(働き)を知り、食への興味・関心を高める			
対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()			
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()		
		日時	令和3年6月17日(木) 11時05分～11時20分	
		場所	保育室	
方法	資料・教材	・パネルシアター ・ホワイトボード(パネル板)		
	実施内容	赤緑黄の列車が登場し、それぞれの列車に載せる食べ物を大まかに伝える。順次、食べ物パネルを出し、どの列車に載せたらよいか考え、子どもにパネル上に並べてもらった。		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・翌日以降も本パネルを使い当日の給食献立が、赤緑黄どのグループの食材から作られているのか確認し合いながら進めていくなど、繰り返し活動した為、バランスよく食べる事にも関心が向いてきた。 ・保育参観時に行った事で、園での食育取り組みへの理解・認知が進んだ。又、家庭においても『よりバランスを意識した食事作りをする様になった』等々の報告があった。 			
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す姿(大きな目標)は概ね達成出来た様である。 ・様々な面からアプローチし、楽しく学べる教材研究をし、提供したい。 		備考	
		